



潰瘍性大腸炎患者さんへ 薬はきちんと飲んでいますか？

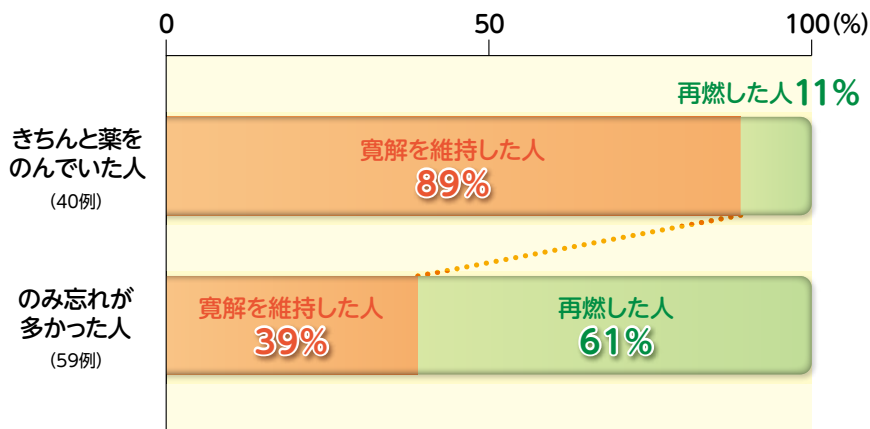
監修 東邦大学医療センター佐倉病院 内科学講座 教授 鈴木康夫先生

潰瘍性大腸炎では、症状がなくなった寛解期でも薬をきちんとのみ続けることが大切です。

寛解を維持するために

- ある2年間の調査研究から、きちんと薬をのんでいた患者さんは、のみ忘れが多かった患者さんよりも寛解を維持できることがわかっています。

■ 寛解を維持していた患者さんの割合(2年間)



Kane S et al: Am J Med 114(1): 39-43, 2003 (海外文献より)

大腸がんの予防のために

- 潰瘍性大腸炎を発症してから10年以上経過し、長期寛解維持の困難な患者さんでは、同じ年齢の一般の人たちに比べて大腸がんになりやすい傾向にあります。しかし、薬をきちんとのみ、長期寛解維持を実現することで、がんの発生率を抑えられることが期待されています。
- がん早期発見のためには大腸内視鏡検査を定期的に受けることが勧められています。

症状がなくなるとつい薬のことを忘れがちですが、
寛解状態を維持するためにも薬はきちんとのみましょう。

ゼリア新薬工業株式会社

協和発酵キリン株式会社

裏面もご覧ください。

あなたの今の
症状は？

潰瘍性大腸炎

UC症状自己チェックシート

監修 杏林大学 医学部 医学教育学 准教授 矢島知治先生

この1～2週間の状態を振り返ってみましょう。

症 状	この1～2週間の状態 (☑チェックしましょう)
腹痛は どうでしたか？	<input type="checkbox"/> 強かった <input type="checkbox"/> 強くはなかった <input type="checkbox"/> 腹痛を感じなかった
便意を感じトイレに 行く回数は？	_____回/日 (記入してください)
排便のトラブルは ありましたか？	<input type="checkbox"/> 漏らすことがあった <input type="checkbox"/> 漏らしたくないがトイレに駆け込んだ <input type="checkbox"/> なかった
腹痛や便意で夜間に 目が覚めることが ありましたか？	<input type="checkbox"/> 毎晩覚めた <input type="checkbox"/> 覚めることがあった <input type="checkbox"/> なかった
どのような便が 多かったですか？	<input type="checkbox"/> 水様便 <input type="checkbox"/> 泥状便 <input type="checkbox"/> 有形便
粘血便 (粘液と血液が 混じった便) は みられましたか？	<input type="checkbox"/> 粘血便がみられた <input type="checkbox"/> 粘液便がみられた <input type="checkbox"/> 血便がみられた <input type="checkbox"/> 粘液便も血便もなかった
残便感 (便を出し切れ ていない感じ) はあり ましたか？	<input type="checkbox"/> 毎日感じた <input type="checkbox"/> 感じる日があった <input type="checkbox"/> 感じなかった

前回受診時からこれまでの状態 (☑チェックしましょう)

体調の変化	くすりののみ忘れ
<input type="checkbox"/> 悪くなった <input type="checkbox"/> 良くなった部分と悪くなった部分がある <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 良くなった	<input type="checkbox"/> よくあった <input type="checkbox"/> 時々あった <input type="checkbox"/> たまにあった <input type="checkbox"/> 全くなかった

■潰瘍性大腸炎は、症状がある時 (活動期) と症状のない時 (寛解期) を繰り返す病気です。

■寛解期を長く過ごすため、また症状の重い活動期にならないために、自分の症状の変化は先生にきちんと伝えましょう。